

# 平成20年度 地域ケアプラザ事業報告書

## 1 施設名

横浜市戸部本町地域ケアプラザ

## 2 事業報告

### (1) 施設の適正な管理について

#### ア 施設の維持管理について

地域の様々な方に、ご利用いただく施設として、安心して、安全にご利用いただけるよう空調設備、消防設備、エレベーター等の点検を定期的に行いました。また、気持ちよく、ご利用していただけるよう衛生面や備品の管理も徹底いたしました。

#### イ 効率的な運営への取組について

法人本部と連携し、業務の役割分担を図りながら、事務の効率化に努めました。各事務用品や備品の購入にあたっては、法人内の地域ケアプラザと情報交換を行い、安価に購入し経費の削減に努めました。

また、法人においては、複数の地域ケアプラザの管理運営を行っているメリットを生かし、各地域ケアプラザと情報を共有することにより、運営の効率化を図りました。

#### ウ 苦情受付体制について

法人の定める苦情解決規則に則り、地域ケアプラザにおいても苦情受付担当者、苦情解決責任者を設置して、ご利用者からのご意見、ご要望、また苦情等に対応いたしました。

また、法人では公正・中立の立場からあつせん、調整を行う第三者委員会を設置し、苦情の適正な解決に向けて取り組みました。

毎月、サービス向上委員会を開催して苦情の分析を行い、その取り組みの結果は毎月、職員に周知し、お客様の苦情やご意見から多くを学び、お気持ちに添ったサービスが提供できるようにいたしました。

#### エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

地域ケアプラザでは地震、火災等の災害時の備えとして、防災対応マニュアル、消防計画等を策定しております。

本年も、20年10月21日と21年3月11日の2回、消火・通報・避難訓練を実施しました。

特に、防災訓練のうち1回は、複合施設であるため、戸部ハマノ愛生園と合同で実施しました。

その他に、地域ケアプラザ周辺の見回りを行ったり、不測の事態に備えて事務所内には防犯ブザーを用意しました。

#### オ 事故防止への取組について

通所介護等におけるサービス提供については、毎朝のミーティングやスタッフ会議においてお客様の状況を共有し、事故の防止に努めました。また、リスクマネジメントの研修を実施し、職員同士で学びあい、実践面で役立つようにいたしました。

地域ケアプラザ内においては、設備（空調・消防・エレベーター）点検・清掃・備品の管理を徹底し、ご利用いただく方の安全に努めました。特に、エレベーター・ガス器具の管理を念入りに行いました。

#### カ 個人情報保護の体制及び取組みについて

法人で定めた個人情報保護規定に則り、個人情報の管理に関する担当者、責任者を設置し、また、法人本部で実施される個人情報保護、情報セキュリティ研修に職員を受講させ、全職員を対象に啓発に努めました。

実際の個人情報の取扱としては、契約書・記録等の書類やフロッピーディスク等については、施錠可能な保管庫で保管することとし、また、パソコン等のデータ管理については、システムセキュリティやパスワード使用を徹底いたしました。

特に、個人情報漏えい事故が多発している現状への防止策として下記の工夫を徹底いたしました。

- ① F A X の誤送信を防止するために、送信時は 2 人対応とし、指差し確認の上、送信しました。
- ② デイサービスのお客様記録書については、デイスタッフ・看護師・生活相談員の 3 名で 3 段階チェックをしてお返ししました。
- ③ お客様に手渡しするものや郵送物は、日付・場所・対応者がわかるようにダブルチェックをしました。

上記のような取組みを行った結果、20 年度は個人情報漏れ事故はございませんでした。

#### キ 情報公開への取組について

法人で定めた情報公開規程に則り、情報開示請求のあった場合には適切に対応できるように整備しております。

また、ホームページを活用して各種事業に関する情報などを幅広く市民の方に提供いたしました。

#### ク 環境等への配慮及び取組について

日常からゴミの分別・コピー用紙の裏面使用等、無駄が無いよう、横浜 G 3 0 プラン（平成 2 2 年度のごみ排出量を平成 1 3 年度に対して 3 0 % 減らす目標）の推進に努めました。当地域ケアプラザにおいても「T 1 0」と名づけて、ゴミの削減に全職員が取り組んだ結果、当初目標の 1 0 % を大きく上回り、4 1 % の削減ができました。（ゴミ廃棄料金の前年比）

また、ケアプラザまつりの際には資源循環局西事務所職員に協力をいただき、ブースを設け、風船遊びを通し楽しく広く市民に向けアピールしていただきました。

日頃から節電・節水を心がけ、エアコンの適切な設定温度にも気を配る等、省エネルギー対策に取り組みました。

また、植栽については、地域の障害者地域作業所の方の仕事の場として、水まきや整備を依頼し、地域の皆様に季節の緑を楽しんでいただきました。

## (2) 職員配置・育成について

### ア 職員体制について

事業ごとの専門に応じて、一定の資格が必要であるため、資格要件及び人員配置基準に従い職員を配置しました。

また、担当事業のみに限らず、地域ケアプラザの職員として、地域住民の多様な問合せに対応できるよう、情報の共有化と知識・技術の向上を目指した会議を毎月2回開催いたしました。

### イ 職員の研修計画について

専門集団であることを自覚し、サービスの向上と専門性の向上を目指した研修を行いました。

①法人本部・地域ケアプラザ独自の年間研修計画を立て、職種・階層ごとに計画的に実施いたしました。

②外部研修も活用し、職員の自己研鑽を支援し、「認知症研修」「食事に関する研修」を受講しました。

ご利用者や地域の皆様に、正しい専門知識と技術をもって対応できるように、会議の場などを活用して、「接遇マナー」「自立支援」「感染症防止」等のミニ研修を行いました。

### (3) 事業内容

#### ア 関係機関との連携について

西区役所・西区地域福祉保健計画、西区社会福祉協議会・西区社協福祉プラン、各地区社会福祉協議会の事業計画等を理解し、関係機関との連携に努めました。地域住民の方に対するサービス向上のために、地域の特性を理解して協働に努め、地域へと積極的に訪問活動を行い、地域のニーズの把握に努めました。

#### イ 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供について

地域との連携を重視し、地区社会福祉協議会、町内会、各地区民生委員などとの関係を密にし、地域の一員として協働してまいりました。積極的に地域に出向いて、地域の方々の抱える課題などの情報収集に心がけ、また、「地域のためのケアプラザ」であることを住民の皆様にご理解いただけるように広報紙やホームページ等を活用して情報発信に取り組んでまいりました。

自主事業については、ボランティアの会などの機会を利用して地域ニーズの把握に努め、ニーズに合った事業を展開しました。また、介護予防やボランティア育成に視点をおいて、「カメラ教室」や「おやじの時間」の新規事業を立ち上げました。

自主事業や地域の情報等については、地域ケアプラザの地域版広報紙・地域包括支援センターの広報紙、ホームページ、訪問時やおまつり等で広く地域に発信・配布いたしました。なお、発信に際しては、その事業の対象者に適した発信方法を考えて行いました。

#### ウ 地域福祉のネットワークの構築について

地域における地区社会福祉協議会や民生委員・児童委員会の会議に出席し、顔の見える関係づくり、何でも相談できる関係づくりを目指しました。ネットワーク構築のまた、西区内の他の地域ケアプラザと協力しながらより大きな視点から地域に必要なネットワークの構築に努めました。

#### エ プラザの各機能を活用した、地域の福祉保健に関する拠点としての機能の発揮について

地域ケアプラザは、横浜市からの委託事業（地域包括支援センター・地域活動交流事業）と介護保険事業（居宅介護支援・通所介護事業）の2つの機能を有しています。このため、両事業の特性を生かしながら、各制度の限界を各々の事業間で補完し合い、地域の課題に対してより効果的に応えられるように協働作業をしてまいりました。地域包括支援センターを設置していることから、行政との連携がスムーズである利点を活用しての事業展開に努めました。

#### オ プラザ内の各部門間の情報共有の方法、連携等について

地域包括支援センター事業・地域活動交流事業・居宅介護支援事業・通所介護事業という4事業の連携・職員間の協力が前提であることを各人が理解し、職員は戸部本町地域ケアプラザというチームの一員であることを認識し、チームとして活動を行ってまいりました。隔週に実施している所内会議の場で、情報を共有し検討事項を協議し、地域ケアプラザとしての方針を決定し、各職員が共通認識を持ち業務に当たりました。また、事業別の会議も毎月実施し各サービスの向上に努めました。

## ● 地域活動・交流事業

### ア 地域の現状（課題）及び、これに対する施設の基本的な取り組みについて

#### ○ 高齢者への対応

高齢者が多い地域ですが、介護保険等のサービス利用が必要であるにもかかわらず、ぎりぎりの状態までサービスを利用されない方がいたり、また、介護保険サービスそのものを知らない方も多い状況も見受けられます。

このため、地域の方からの情報等により、地域包括支援センターと連携し、高齢者の方への情報提供や支援に取組みました。また、介護予防についても、地域ケアプラザの事業を紹介する等、理解を深めていただけるように努めました。

#### ○ 乳児・幼児への対応

マンションが多く、若い世代の乳児や幼児をもつお母様が多い地域でもあり、お母様同士の仲間作りや交流、地域における親子の遊び場や居場所作りが課題となっている地域であるため、異世代交流サロン「コミュニティーキッチン5」を実施し、伝承遊びや餅つきなどのイベントを通して、さまざまな世代が交流を図れる機会をつくりました。

#### ○ 団塊世代への対応

当地域ケアプラザは、みなとみらい地区が担当エリアとなっています。このエリアには、団塊世代が多く居住しており、退職後の居場所作りが課題となっています。このため、団塊世代の方を対象にした「カメラ講座」「おやじの時間」を開設し参加を募りました。

### イ 福祉保健活動団体等が活動する場の提供について

地域ケアプラザは横浜市の委託事業を受け、地域の課題に関して包括的に取組んでいく役割を担っていることから、その役割を効果的かつ有効に解決していくために福祉保健活動団体の協力を得ることが肝要となります。そのために貸室を広く地域の福祉保健団体へ貸し出して有効に活用していただきました。

### ウ 運営協議会の開催時期・議題について

第1回 平成20年5月29日(木) 10:00～11:15

第1号議案 平成19年度事業報告について

第2号議案 平成20年度事業計画について

第3号議案 ケアプラザまつりについて

第2回 平成21年1月29日(木) 10:00～11:00

第1号議案 平成20年度上半期事業報告について

第2号議案 ケアプラザまつりについて

#### ○ 議題

運営協議会は、地域の代表の方々に向けて、地域ケアプラザにおける事業計画・事業報告を行います。また、皆様よりご意見・ご要望をお伺いし、地域の福祉・保険事業を担う地域ケアプラザとして、よりよい運営ができるように取り組みました。

### エ ボランティア育成及びコーディネートについて

自主事業や通所介護サービスは、多くのボランティアの方々のお力をお借りして実施しました。現在登録のボランティアの方には、情報ラウンジの開放、ボランティア同士の交流やネットワーク作り、また、当地域ケアプラザにご意見をうかがう場として「ボランティア交流会」を開催しました。さまざまなボランティアの方を適材適所に派遣いたしました。

## オ 貸し館の稼働率目標、及び利用促進策について

当地域ケアプラザの立地として、京浜急行線戸部駅から徒歩2分・相鉄線平沼橋駅から徒歩7分と駅から近いこと、また、平坦地であることから高齢者や子育て中の方にも利用希望が多いことが特徴としてあげられます。

- ・20年度は、多くの地域住民の方にご利用いただきまして、多目的ホールは80%の稼働率をあげることができました。その他のすべての貸室を含めると貸室全体では35%の稼働率でした。
- ・ボランティアルーム、地域ケアルームなどの貸室については、地域の会議等での利用促進を目指し、諸団体へ広報・声かけを行いました。

## カ 福祉保健活動（インフォーマルサービス）の開発・新たな地域福祉の担い手の育成のための自主事業の展開について

地域の抱える諸問題を地域で解決すべく、子育て世代の悩み等を解決するための事業「コミュニティーキッチン5」や団塊世代の居場所づくりに「おやじの時間」「カメラ講座」「しなくちゃクッキング」を開催しました。その中から実際に、少しずつですが地域福祉の担い手が育っております。

## キ 区行政との協働について

区の地域福祉保健計画に基づいた事業を展開していくことに特に注意を払ってまいりました。ケアプラザ連絡会や地区別懇談会などの会議の場でも、随時、区のご意見やご確認を得ながら業務を遂行してまいりました。

## ● 地域包括支援センター事業

### ア 地域包括支援センターの役割の周知や活用に関する工夫について

- ①相談事業における訪問時、事業の実施時、地域の食事会・会議やおまつり、事業所への挨拶回り等々、地域包括支援センターの3職種の役割について、地域との関係作りを行ないながら、わかりやすい説明に努めました。
- ②出張相談の場において、地域包括支援センターの説明や活用をご案内いたしました。
- ③地域包括支援センターのPRとして、広報紙：F U Z Z通信の発行やチラシ作成を行い、各種自主事業や運営協議会、地域の諸会議、区内の居宅介護支援事業所等に配付し、ご案内をいたしました。
- ④地域には、積極的に出かけ、また、地域活動交流事業担当者とも連携をとりながら、現在ある地域とのパイプを最大限に活用するように配慮しながら事業を行いました。

### イ 介護予防の推進や地域づくりのための具体的方策について

- ①介護予防の推進のため、ケアプラザまつりにて、口腔ケア・栄養指導等を実施しました。また、出前講座として地域の集まり（ひとり暮らし高齢者食事会やボランティアグループなど）に出向き、啓発活動をいたしました。
- ②包括的・継続的ケアマネジメントの計画として、医療連携等のネットワークづくりに継続して取り組んでまいりました。
- ③各地区社会福祉協議会との連携に努め、総会・研修会等にも出席し、協働で地域づくりに取り組みました。
- ④西区主催の地区別懇談会への出席により、西区や該当地区の課題の把握に努め、その

中から介護予防につながる情報を得て、関係各所に繋げました。

#### ウ 介護予防ケアマネジメント事業

##### □ 介護予防ケアマネジメントの実施目標について

高齢者自らが、日常生活の中で自立の意識を持てるよう、お客様の立場に立って一緒にケアプランを検討し、実現可能なプラン作成に取り組んでまいりました。また、介護予防の重要性を認識し、介護予防の観点にたったケアマネジメントができるように技術向上に努めました。

- ①携わる職員全員が正しく自立支援について理解し、適切なプランが作成できるように研修、研鑽に努めました。
- ②対象となった方の意欲向上につながるような援助ができるように、コミュニケーション技術の向上に努めました。
- ③高齢者の方に安定した介護予防ケアマネジメント対応ができるよう、他職種との連携を深められるような体制づくりに努めました。

##### □ 特定高齢者の候補者数を把握するための方法、手段について

(高齢者の食事会等、民生委員との連絡会などを活用して)

- 西区福祉保健センターや民生委員との連携をより強化することで把握に努めました。
- これまで把握している相談事業の対象者や自主事業の参加者に個別チェックシートをすすめ、把握いたしました。
- 民生委員の方に趣旨をお伝えし、地域の集まりでチェックシートを行いました。

##### □ 平成20年度特定高齢者を把握するためのルートの構築について

- 地域ケアプラザの広報紙に介護予防の取組を掲載し、広く地域の方に広報することによるルートの構築。
- 自主事業の中から把握するルートの構築。
- 区からもたらされる情報を活用するルートの構築。
- 地域のイベントである地域のおまつり・高齢独居者の食事会・地区社会福祉協議会の研修講師等に参加し、介護予防についての広報を行い、理解の促進に努めることにより把握するルートの構築。

#### エ 総合相談・支援事業

- ①民生委員や福祉保健活動団体関係者と常に顔の見える関係づくりを心掛け、協力が得られるように努めてまいりました。
- ②潜在的なニーズ発掘と実態把握のため、事務所から地域に直接出向き、「藤棚らいぶステーション」においての出張相談を継続して行いました。
- ③西区で行われている「ケアプラザ会議」・「地区別担当者会議」及び西区との月1回の定例カンファレンスを活用し、いろいろな職種と連携の図りやすい、迅速に動きやすいケアプラザならではの長所を生かした相談支援事業に努めました。

オ 権利擁護事業（現状・被保険者への虐待防止・早期発見等）

□ 早期発見・虐待防止に向けての工夫等

（ネットワーク構築、認知症高齢者世帯への支援、介護者支援など）

- ① 西区が主催する「処遇困難事例検討会」に積極的に参加し、事例やケース別の処遇方法を共有する取り組みを継続いたしました。
- ② 地域のネットワークづくりとして、個別ケースを中心に民生委員等とのカンファレンスを実施いたしました。
- ③ 権利擁護の啓発講座を西区内地域包括支援センター・あんしんセンター・区役所共催で実施いたしました。

カ 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

- ① 特に、地域のケアマネジャーのネットワークづくりや質の向上を図るため、西区ケアマネ研究会の役員会・定例会等に積極的に出席し、地域のケアマネジャーの情報把握を行いつつ、具体的な助言や支援を行いました。
- ② 勉強会サロンを開催し、地域のケアマネジャーの情報交換の場や自己研鑽の機会を提供、地域包括支援センターの役割について説明し、双方の共通認識作りに努めました。
- ③ 地区の民生委員・児童委員と顔の見えるよい関係をつくるために、地域の各種行事に可能な限り参加いたしました。

キ 介護予防支援業務の取り組みに関する考え方（実施体制等）

《職員体制》

兼務	地域包括支援センター	保健師	1名
		主任ケアマネジャー	1名
		社会福祉士	1名
非常勤職員（専任）		介護支援専門員	1名
非常勤職員（兼務）		介護支援専門員	1名
		事務	1名

《目標に対する取組状況》

ご利用者の自立に向けた目標志向型プランを策定、サービスの導入に当たってはご利用者と相談しながら目標設定を行い、当該サービス提供期間毎に評価を行いました。要支援1・2の既成サービスに該当しない方については、自主事業などの中から適切なサービスの紹介に努めました。

特に、独居の方に対しては、介護保険制度以外でも見守り等を行いました。

《実費負担（徴収した場合は項目ごとに記載）》

- 担当者もしくは居宅介護支援事業者の介護支援専門員が、通常のサービス地域を越える地域に訪問・出張する必要がある場合には、その交通費（実費）をいただくこととなっておりますが、実際に交通費実費をいただく例はありませんでした。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 要支援者・特定高齢者を対象とした介護予防コーラス事業を実施し、毎回多くの方が楽しく参加し効果をあげました。
- 地域包括支援センター3職種が常に共通認識を持てるよう、所内で定期的に会議を行い、個別ケースの共通把握や理解に努め、安心して相談いただける体制をとってまいりました。

《利用者実績》

※ 単位は省略

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
119	113	122	113	116	117
10月	11月	12月	1月	2月	3月
117	118	120	123	122	124

## ● 通所介護事業

### 《提供したサービス内容》

- 通所介護計画の作成、生活指導（相談援助等）、機能訓練（日常生活動作訓練）介護サービス（移動や排泄の介助、見守り等のサービス）、健康状態の確認送迎、食事、入浴についてのサービスを提供しました。また、ご希望に応じ、個別機能や口腔機能向上のためのプログラムを実施しました。
- ・通所介護サービス計画の作成にあたっては、ご利用者やご家族の意思を尊重して、心身の状況、その置かれている環境等に応じて、ご利用者が自立した日常生活を営むことができるよう、また、計画の作成にあたっては、必要に応じてご利用宅を訪問の上、状況調査を行ないました。
- ・サービス提供にあたっては、関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス、ボランティア団体等との綿密な連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努め、要介護状況の軽減もしくは悪化の防止又は、要介護状態になることの予防に資するように十分配慮しました。

### 《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

○1割負担分	
（経過的要介護）	645円
（要介護1）	718円
（要介護2）	837円
（要介護3）	955円
（要介護4）	1,074円
（要介護5）	1,193円
○加算	
入浴加算	53円
個別機能訓練加算	29円
口腔機能向上加算	106円
○食費負担	650円

《事業実施日数》 週 6 日 （月曜日～土曜日）

《提供時間》 10:00～16:15

《職員体制》	管理者	1名
	生活相談員	3名
	看護職員	6名
	介護職員	17名
	機能訓練指導員	6名
	調理員	6名
	ドライバー	3名

### 《目標に対する取り組み状況》

ご利用者の心身の特性を踏まえ、その有する能力に応じたサービス提供ができるよう、サービス担当者会議等の検討により、対応方針を決定し、ご利用者に合った計画を立て、サービス提供を行ないました。

### 《その他（特徴的な取組、PR等）》

#### ○お客様お一人ひとりへの個別対応の取組み

- ・自立支援を念頭に、お客様お一人ひとりの能力に応じた援助を行いました。
- ・個別機能訓練計画書に添って、機能訓練指導員が機能訓練を実施いたしました。
- ・看護師が食事前に嚥下体操、食後には歯みがき指導等口腔ケアに力を入れ、口腔内の健康に努め、おいしく召し上がっていただけるように支援しました。

- ・書道・折り紙・ぬり絵など、個別に、楽しくて心身の活性化にも連なるレクリエーションプログラムを用意し取り組んでいただきました。
- ・ホットプレートを使用した調理訓練レクリエーション、シルバー体操指導員によるリハビリ体操など、レクリエーションプログラムの中にも機能訓練の要素を盛り込んで楽しく行いました。

○入浴

- ・ゲルマニウム温浴を導入し、温泉気分で入浴を楽しんでいただきました。
- ・季節にはしょうぶ湯やゆず湯を楽しんでいただきました。

○お食事

- ・厨房スタッフが栄養バランスを考えた献立を作成し、手作りで提供しました。また、月ごとに季節を反映したテーマを決め、栄養の知識を学ぶとともにおいしく楽しく食事が摂れる工夫をいたしました。また、お客様からのリクエスト献立に対応したり、お誕生週間にはおいしい和菓子・洋菓子をお楽しみいただきました。

○スタッフ教育

- ・お客様の様子を常に観察し、『報告・連絡・相談』を常に欠かすことなく業務にあたりました。
- ・スタッフ一人ひとりが指示を待つのではなく、自分で考え・行動できるよう、技術向上のための研修を毎月実施いたしました。

○関係機関・地域連携

- ・地域包括支援センター、居宅介護支援事業所と連携を図り、お客様のニーズ・身体状況に合った適切なサービスが迅速に提供できるよう努めました。
- ・地域の方（民生委員など）や各居宅介護支援事業所に、当地域ケアプラザのデイサービスを知っていただけるよう、地域に赴き、あるいは地域ケアプラザにお越しいただきPR等に取り組みました。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
644	701	670	713	664	663
10月	11月	12月	1月	2月	3月
668	651	590	607	578	677

● 介護予防通所介護

《提供したサービス内容》

○介護予防通所介護計画の作成、生活指導（相談援助等）、機能訓練（日常動作訓練）介護サービス（移動や排泄の介助、見守り等のサービス）、健康状態の確認送迎、食事、入浴などのサービスを提供しました。また、ご希望に応じ、運動器機能や口腔機能向上のためのプログラムを実施いたしました。

- ・介護予防通所介護サービス計画の作成にあたっては、ご利用者の意思を尊重し、心身の状況、その置かれている環境等に応じて、ご利用者が自立した日常生活を営むことができるよう、計画の作成にあたっては、必要に応じてご利用者宅を訪問の上、状況調査を行ないました。
- ・サービス提供にあたっては、関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス、ボランティア団体等との綿密な連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努め、要介護状況の軽減もしくは悪化の防止又は、要介護状態になることの予防に資するよう十分に配慮をいたしました。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

○1割負担分	
(要支援1)	2, 360円
(要支援2)	4, 615円
○加算	
運動器機能向上加算	239円
口腔機能向上加算	106円
○食費負担	650円

《事業実施日数》 週 6 日 （月曜日～土曜日）

《提供時間》 10:00 ～ 16:15

《職員体制》	管理者	1名
	生活相談員	3名
	看護職員	6名
	介護職員	17名
	機能訓練指導員	6名
	調理員	6名
	ドライバー	3名

《目標に対する取組状況》

ご利用者の心身の特性を踏まえ、その有する能力に応じたサービス提供ができるよう、サービス担当者会議等の検討により、対応方針を決め、ご利用者に合った計画を立て、サービス提供を行ないました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

○お客様一人ひとりへの個別対応の取組み

- ・自立支援を念頭に置き、お客様一人ひとりの能力に添った援助を行いました。
- ・運動器機能向上計画書を基に、機能訓練指導員が運動器機能向上のための訓練を実施いたしました。
- ・看護師が、食事前には嚥下体操、食後には歯みがき指導等の口腔ケアに力を入れ、口腔内の健康に努め、おいしく食事を召し上がっていただけるように支援いたしました。

○入浴

- ・ゲルマニウム温浴を導入し、温泉気分に入浴を楽しんでいただきました。
- ・季節には、しょうぶ湯やゆず湯を楽しんでいただきました。

○お食事

- ・厨房スタッフが栄養バランスを考えた献立を作成し、手作りで提供いたしました。また、月ごとにテーマを決めて、栄養に関する知識を深めていただくとともに楽しく召し上がっていただく工夫をいたしました。また、お誕生日週間にはおいしい和菓子や洋菓子を楽しんでいただくとともに、お客様からのリクエストにお応えした献立も用意しました。

○スタッフ教育

- ・『報告・連絡・相談』を常に意識し、業務にあたります。
- ・スタッフ1人ひとりが指示を待つのではなく、自分で考え・行動できるよう、技向上のための研修等を実施いたしました。

○関係機関・地域連携

- ・地域包括支援センター、居宅介護支援事業所と連携を図り、お客様のニーズ・身体状況に合った適切なサービスが常に提供できるように努めました。
- ・地域の方（民生委員など）に、デイサービスを知っていただけるよう、地域に赴きあるいは地域ケアプラザにお招きしてPR等に取り組みました。

≪利用者実績（契約者数）≫

※ 単位は省略

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
16	16	15	12	13	14
10月	11月	12月	1月	2月	3月
14	15	16	17	19	15

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

	管理者	1名
常勤	介護支援専門員	2名
非常勤（兼務）	介護支援専門員	1名

《目標》

(1)在宅生活の支援への対応

○ケアプランの作成にあたっては、ご利用者のみなさまの心身の状況や環境等に応じて、可能な限り住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことができることを目指し、社会資源を活用したケアプラン作成に努めました。

(2)公正中立な立場により多様で総合的なサービス調整への対応

○行政機関や地域の保健・医療・福祉サービス事業者、ボランティア団体等、多様な事業者から総合的かつ効率的にサービスが提供されるように、公正中立な立場に立ちケアプランを作成し、サービス事業所等との連絡調整をサービス担当者会議等で行い、ご利用者・ご家族に納得いただけるケアプラン作成に努めました。

○要介護認定等の申請に係る相談、助言及び申請ができない場合は代行、ケアプラン作成、サービス事業所等及び関係行政機関等との連絡調整、ケアプランの実施状況の把握、介護保険施設の紹介その他の便宜の提供を行うため、ご利用者宅の訪問やサービス担当者会議等を適切に行いました。

《実費負担（徴収した場合は項目ごとに記載）》

○通常のサービス提供地域をこえる地域に訪問・出張する必要がある場合には、ご利用者又はご家族に対して事前に文書で説明した上で、支払いに同意する旨、文書に署名（記名）、押印をいただきます。その上で以下の方法で実費をいただきます。

①公共交通機関を利用した場合

公共交通機関の運賃分となります。また、作成した明細書等により請求します。

②自動車を利用した場合

地域ケアプラザより片道6.5km未満は無料とし、6.5km以上は10kmごとに160円をいただきます。

\*実際に実費をいただいたお客様はいませんでした。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

○地域ケアプラザの居宅介護支援事業所であることを大いに活用し、地域包括支援センター、西区、地域の支援者等との連携を十分に行い、ケアマネジメントに取り組みました。

《利用者実績》

※ 単位は省略

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
68	68	69	70	68	65
10月	11月	12月	1月	2月	3月
63	71	75	70	70	69

●その他

セ プラザの各機能を活用した、地域の福祉保健に関する拠点としての機能の発揮について

地域福祉の拠点であることを自覚し、地域ケアプラザの複数ある機能を活用し、地域資源等の情報を把握し、地域特性を生かした支援ができるように努めてまいりました。

地域ケアプラザ内の各担当者とのつながりを強化し、チームアプローチの視点から、一人の地域住民に対して包括的に関わっていけるように担当者一人ひとりが意識し、情報の共有に努めました。

情報共有・チームアプローチへの取り組みとしては、所内会議・各事業別会議により対応方針の統一や各担当が専門性を生かした対応ができるようにいたしました。

ソ プラザ内の各部門間の情報共有の方法、連携等について

- ・ 隔週に実施する定例の所内会議などを活用、また、部門ごとの会議や打ち合わせを随時行いました。
- ・ 相談事業の情報共有については、介護保険事業と地域包括支援センターの各担当者が迅速に情報交換することを心がけました。そのために、方針や役割分担を明確にして対応しました。特に、ケアマネジャーとは、主任ケアマネジャーがサービス担当者会議へ参加することで、情報共有に努めました。
- ・ 地域包括支援センターと地域活動交流の自主事業の開催に際しては連携に努め、特に高齢者対象の事業では相互に情報を共有して、介護予防を意識した取り組みを行いました。

<以上>

# 平成20年度自主事業報告書

## 横浜市戸部本町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
若年性認知症ミ ニデ伊ヒス『わた ぼうし』	目的：若年性認知症の方への居場所・他者との交流の場の提供及び、ご家族へのレスパイト 内容：ボランティアを主体とするミニデ伊ヒスの提供	毎月第3水曜日 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者の集い	目的：介護者同士の交流の場の提供 内容：集い（親睦・情報交換）や施設見学、癒しのレクリエーションなど	H20. 5, 7, 9, 11月 H21. 1, 3月 6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防コーラス 『にこにこ隊』	目的：介護予防・仲間づくり 内容：コーラス	毎月第2・4月曜日 24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
よろずや戸部本 町	目的：出張相談会によりニーズ発掘 内容：藤棚らいぶステーションへ出向いての相談事業	H20. 4, 6, 8, 10, 12月 H21. 2 6回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
出前講座	目的：介護予防・ケアプラザの周知 内容：町内会・老人会・高齢者食事会などに出向き、介護保険や介護予防の体操や講座を実施	H20. 4. 5. 6. 7. 11 H21. 3 9回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て相談室	目的：ニーズ把握・子育て支援 内容：子育て事業『みんなで遊ぼう』の開放日に個別相談室を開催	毎月第2木曜日 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
コミュニティー キッチン5	目的：地域の中での居場所作り・世代間交流 各種団体の交流支援・介護予防 内容：カレーを食べながらの会食会 餅つき大会 口腔体操・介護予防の話・	H20. 8 H21. 1 2回

# 平成20年度自主事業報告書

## 横浜市戸部本町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
劇団かもめ座 『いつまでもこ こで暮らした い』在宅の味方 成年後見制度	目的：地域の方々へ成年後見制度の普及・啓発事業 内容：寸劇と講演により分かりやすく成年後見制度を学ぶ	H20. 6月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
相続と遺言	目的：権利擁護の啓発 内容：司法書士による相続と遺言の講座	H20. 7, 11月 2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
おやじの時間	目的：介護予防・男性の仲間づくり 内容：中高年の男性の居場所づくり・交流会	毎月第4火曜日 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
葬儀のイロハ	内容：権利擁護の啓発・消費者被害の防止 内容：古い支度の一環として、葬儀に関してのトラブルや 疑問についての講座	H21. 1月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
団塊の世代向け カメラ講座	目的：介護予防・仲間づくり 内容：中高年の仲間・居場所づくり、交流会 ボランティア活動参加へのきっかけ作り	H20. 9～H21. 3月 10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
アロマヨガ教室	目的：ケアプラザの機能の周知・地域住民の交流場の提供 内容：ヨガストレッチ体操	H21. 2～3月 4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
食中毒予防講座	目的：ボランティアなど実際に食事に関わった活動をおこ なっている方を対象とした、食品衛生に関する普及啓発 内容：食中毒についての講義 手洗い方法や健康管理について	H20. 6月 1回

# 平成20年度自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネ勉強会	目的：ケアマネジャーの質の向上、連携を図る。内 容：事例検討、法改正の周知、自立の捉え方等	H20. 5・7・9・11 月、H21.1・3月 前6回

# 平成20年度自主事業報告書

## 横浜市戸部本町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
転倒骨折予防教室0B会	目的：介護予防 内容：転倒を防止する為の体操教室	・とべとべの会 (年24回) ・いきいき元気会 (年24回) ・かるやか会 (年24回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
茶ばしらサロン	目的：介護予防・ボランティアの育成 内容：手芸、工作、調理、勉強会、食事会など日替わりのプログラムと茶話会	毎月第2.4水曜日 24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
しなくちゃクッキング	目的：男性高齢者の仲間作り支援・介護予防 内容：家庭で調理を担当する男性の為の料理教室	毎月第2.4火曜日 24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなで遊ぼう	目的：子育て支援・ボランティアの育成 内容：第2木曜日 プレイルームの開放 第4木曜日 イベントの開催 (講演会・読み聞かせ・親子ビクス 等)	毎月第2.4木曜日 24回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ボランティア入門講座	目的：新規ボランティアの育成 区内各種ボランティア団体への支援 内容：ボランティアとは ボランティア活動についての心構え 区内福祉施設でのボランティア体験	H20. 11月 3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
福祉施設見学	目的：ケアプラザの機能・高齢者の身体の特性・車椅子操作についての説明 内容：福祉・保健に関する理解を深めるための説明	H20. 4, 5月 4回

# 平成20年度自主事業報告書

## 横浜市戸部本町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアプラザまつり	目的：ケアプラザの機能の周知・地域住民の交流場の提供 内容：模擬店・アトラクションの発表 等	H20. 11月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
なないろカフェ	目的：子育て支援・親子の交流の場の提供・子育てニーズの把握 内容：お茶とパンを提供し、親子がゆったりと寛げて交流が出来る場の提供。 読み聞かせや工作を楽しめるプログラムの提供。	H20. 12月 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
西区 男性の料理教室 交流会	目的：男性の居場所作り・交流の支援 内容：戸部・藤棚・宮崎のケアプラザで実施している「男の料理教室」参加者の会食・交流会	H21. 3月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
西区 サブコーディネーター研修	目的：西区内サブコーディネーターのスキルUP 内容：ケアプラザと地域活動交流事業の理解の為の講座	H21. 2月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア交流会	目的：ボランティアへの感謝・交流会 内容：交流を図りながら情報交換や問題点の洗い出し	H21. 3月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
高齢者虐待防止の理解とその対応	目的：権利擁護の啓発 内容：専門職向けに、高齢者虐待について理解を深め、事例検討の手法について学ぶ	H20. 12月 1回

# 平成20年度 自主事業収支決算書

事業名	①募集対象	自主事業決算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
若年性認知症ミニデイサービス『わたぼうし』	若年性認知症の方	107,121	72,721	34,400	30,000	76,561	560
	1回5名程度						
	1回500円						
介護者の集い	介護経験者	511	511	0	0	511	0
	特になし						
	なし						
介護予防コース『にこにこ隊』	高齢者	72,434	31,134	41,300	22,220	50,214	0
	20名						
	1回100円						
よろずや戸部本町	地域	0	0	0	0	0	0
	特になし						
	なし						
出張相談	高齢者・地域	0	0	0	0	0	0
	なし						
	なし						
子育て相談室	未就学児家族	0	0	0	0	0	0
	なし						
	なし						
コミュニティーキッチン5	地域	50,245	26,845	23,400	5,000	44,445	800
	特になし						
	食材料費						
劇団かもめ座 「いつまでもここで暮らしたい」在宅の見方 成年後見制度	地域	0	0	0	0	0	0
	特になし						
	なし						
相続と遺言	地域	0	0	0	0	0	0
	特になし						
	なし						
おやじの時間	団塊の世代男性	560	560	0	0	0	560
	特になし						
	なし						
葬儀のイロハ	地域	8,000	8,000	0	8,000	0	0
	特になし						
	なし						
アロマヨガ教室	地域	23,065	3,665	19,400	13,332	5,733	4,000
	20名						
	1回200円+保険						
食中毒予防講座	地域	0	0	0	0	0	0
	特になし						
	なし						
転倒骨折予防教室OB会 翔べ翔べの会	高齢者	53,332	14,632	38,700	53,332	0	0
	30名						
	月100円						

## 平成20年度 自主事業収支決算書

転倒骨折予防教室OB会 いきいき元気会	高齢者	53,332	16,732	36,600	53,332	0	0
	30名						
	月100円						
転倒骨折予防教室OB会 かろやか会	高齢者	53,332	7,132	46,200	53,332	0	0
	30名						
	月100円						
茶ばしらサロン	高齢者	67,252	20,352	46,900	16,665	50,587	0
	30名						
	1回100円+実費						
しなくちゃクッキング	男性高齢者	83,775	20,775	63,000	0	83,375	400
	20名						
	1回300円						
みんなで遊ぼう	未就園児・家族	32,720	32,720	0	32,220	500	0
	30組						
	なし						
ボランティア交流会	地域	23,710	23,710	0	8,888	9,722	5,100
	20名						
	なし						
福祉施設見学	地域	0	0	0	0	0	0
	特になし						
	なし						
ケアプラザまつり	地域	193,163	193,163	0	0	126,363	66,800
	特になし						
	なし						
なないろカフェ	未就園児・家族	0	0	0	0	0	0
	20組						
	なし						
西区 男の料理教室交流会	男の料理教室参加者	0	0	0	0	0	0
	なし						
	なし						
西区 サブコーディネーター研修	サブコーディネーター	0	0	0	0	0	0
	なし						
	なし						
高齢者虐待防止の理解とそ の対応	専門職	0	0	0	0	0	0
	特になし						
	なし						
カメラ教室		13,332	13,332	0	13,332	0	0
ボランティア入門講座		0	0	0	0	0	0
カメラ教室OB会		22,222	4,222	18,000	0	22,222	0
ケアマネ勉強会		11,111	11,111	0	0	11,111	0

# 平成20年度 地域ケアプラザ決算報告書

施設名：横浜市戸部本町地域ケアプラザ

平成20年4月1日～平成21年3月31日

(単位：千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター		居宅介護支援	通所介護	予防通所介護
			包括的支援	介護予防支援			
収入	指定管理料収入	18,468	23,497				
	介護保険収入			6,142	9,749	80,814	8,340
	その他						
	補助金収入	77	0	0	0	0	0
	認定調査				633		
	積立金取崩収入	0	0	0		69	0
	指定管理料戻入	0	0				
	その他	389	84		400	485	
	<b>収入合計(A)</b>	<b>18,934</b>	<b>23,581</b>	<b>6,142</b>	<b>10,782</b>	<b>81,368</b>	<b>8,340</b>
支出	人件費	11,264	20,546	1,666	13,352		42,861
	事務費	2,622	1,333		1,403		11,809
	事業費						
	管理費	6,412	1,704				6,575
	その他						
	他会計区分繰入金支出	0	0	0	0		24,892
	修繕積立金						789
	他居宅介護支援事業所委託分			1,917			
その他	0	0	0	0		0	
	<b>支出合計(B)</b>	<b>20,298</b>	<b>23,583</b>	<b>3,584</b>	<b>14,755</b>		<b>86,926</b>
	<b>収支 (A) - (B)</b>	<b>-1,364</b>	<b>-3</b>	<b>2,559</b>	<b>-3,973</b>		<b>2,781</b>